

令和 7 (2025) 年度

学校推薦型選抜 (人間健康科学部 スポーツ健康科学科) 試験問題

小論文

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。
- 2 解答はすべて解答用紙に記入してください。
- 3 解答には鉛筆かシャープペンシルを使用してください。
- 4 問題は全部で3ページ、解答用紙は全部で1枚あります。
- 5 試験時間は90分です。
- 6 試験終了後、問題冊子も回収します。
- 7 何か伝えたいことがあるときは挙手してください。

問題

以下は、マシュー・サイド著『多様性の科学』の一部である。本章では、「平均値の落とし穴」について例を挙げて説明している。以下の文章を読んで、設問に答えなさい。

著作権の都合により、公開できません。

著作権の都合により、公開できません。

【出典】マシュー・サイド著、株式会社トランネット翻訳協力、『多様性の科学』（2021年）第6章
「平均値の落とし穴」 I 我々がダイエットの諸説に惑わされる理由 より一部抜粋

※出題者注

- 1) パレオダイエットのパレオは、パレオシック＝旧石器時代の略で、狩猟採集型の食生活を取り入れた食事法のこと。特徴として肉や魚などの動物性たんぱく質を中心に摂取し、穀物や糖質を避ける。
- 2) 地中海ダイエットは、スペインやイタリア、ギリシャといった、地中海沿岸地域の食生活を取り入れた食事法のこと。特徴としてオリーブオイルや豆、ナッツ類、新鮮な魚介類などの食材を使う。

設問1

筆者がこの文章で述べている下線部の「無意識のうちに陥る落とし穴」とは何か、200字以内で要約しなさい。

設問2

文章中で「無意識のうちに陥る落とし穴にはまって多様性を見過ごし、本来の力を出せずにいる集団や組織が多い」と筆者は述べています。このような状況は、世の中に多く存在します。あなたが考える、無意識のうちに陥る落とし穴について具体的にどのような事例が挙げられるか、500字以内で述べなさい。